

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年2月12日

上場会社名 株式会社プラコー 上場取引所 東  
 コード番号 6347 URL <http://www.placo.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 権田 和睦  
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務 (氏名) 黒澤 秀男 (TEL) 048-798-0222  
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の業績 (平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	2,571	47.6	58	419.5	92	—	83	—
26年3月期第3四半期	1,741	△2.8	11	—	△7	—	△9	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
27年3月期第3四半期	3.07		—					
26年3月期第3四半期	△0.35		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	2,427	419	17.3
26年3月期	2,689	332	12.4

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 419百万円 26年3月期 332百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の業績予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,550	15.4	102	△31.2	127	1.0	110	5.6	4.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

※詳細については、添付資料3ページ2の(1)「四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

27年3月期3Q	27,152,585株	26年3月期	27,152,585株
27年3月期3Q	51,430株	26年3月期	49,645株
27年3月期3Q	27,101,985株	26年3月期3Q	27,105,540株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6
(重要な後発事象)	6
5. 補足情報	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府と日銀の景気刺激策や金融緩和策により、企業業績の回復や雇用環境の改善、設備投資の増加といった動きが一部でみられ、全体的には緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、消費税率の引上げによる個人消費の低迷や円安傾向の長期化に起因するコストの増加などといった懸念材料が存在し、さらには海外景気の下振れ懸念等の不安要素もあり、先行きは依然として不透明な状況が継続しております。

当社の関係するプラスチック加工業界は、長引く円安傾向に起因するプラスチック原料や生産財の価格上昇、さらに電気料金の上昇などを、製品価格へ転嫁することが出来ない状況が続いておりました。さらに、昨年後半から始まった原油価格の下落により原料価格引下げの動きがありましたが、同時に製品価格引き下げの懸念が存在するなど、総じて設備投資意欲を押し下げる要因となっております。

また、環境関連業界においては、工場内リサイクルとして破碎機等の受注があるものの、業界全体としては、積極的な設備投資意欲へと結びつくまでに時間がかかっております。

このような状況下、営業面では、インフレーション成形機事業においては、汎用押出機や新しい原料などに対応する技術を実現した、高生産性多層フィルム成形機の受注を複数台いただきました。

ブロー成形機事業においては、好調な自動車業界を反映し、自動車部品メーカーより「小型樹脂タンク用ブロー成形機」の量産受注が具体化したほか、補助金制度を利用した「省エネルギーブロー成形機」の受注を多数いただきました。

また、生産面では、海外生産を推進させるとともに、国内仕入先と協力して生産性の向上に努めました。しかしながら、販売価格競争が厳しかったことに加え、大型機種品の品質に万全を期するため、試作費用が増加し利益は目標に至りませんでした。しかし、これらの費用が今後の利益に貢献するものと考えております。

以上の結果、当第3四半期累計期間における売上高は、大型機械の納入が複数台あったことから、当初の予定より増加し25億7千1百万円となり、前年同四半期と比べ8億2千9百万円増加(前年同四半期比47.6%増)いたしました。しかし利益面につきましては、前年同四半期比では増益となりましたが、大型機械製作に試作費用が多くかかったことや、円安等の影響で輸入コストが嵩み、目標の利益を確保できませんでした。また、保険金受取りによる収入がありました。この結果、営業利益5千8百万円(前年同四半期は営業利益1千1百万円)、経常利益9千2百万円(前年同四半期は経常損失7百万円)、四半期純利益8千3百万円(前年同四半期は四半期純損失9百万円)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産、負債及び純資産の状況)

流動資産は、前事業年度末に比べて13.8%減少し、1,729百万円となりました。これは主に、現金及び預金が79百万円、受取手形、売掛金及び電子記録債権が209百万円それぞれ減少したことなどによります。

固定資産は、前事業年度末に比べて2.2%増加し、698百万円となりました。これは主に、有形固定資産が新規取得などにより26百万円増加しましたが、役員保険が保険金受取により9百万円減少したことなどによります。

この結果、総資産は前事業年度末に比べて9.7%減少し、2,427百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べて15.8%減少し、1,328百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が170百万円、前受金が36百万円、未払法人税等が21百万円それぞれ減少したことなどによります。

固定負債は、前事業年度末に比べて12.6%減少し、679百万円となりました。これは主に、長期借入金が97百万円、退職給付引当金が14百万円減少したことなどによります。

この結果、負債は前事業年度末に比べて14.8%減少し、2,008百万円となりました。

純資産は、前事業年度末に比べて26.0%増加し、419百万円となりました。これは主に、第3四半期純利益を83百万円計上したことなどによります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点において、平成26年11月10日に公表いたしました業績予想に変更はありません。なお、今後の経営環境により、業績予想について見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(原価差異の繰延処理)

操業度等の変動に起因して発生した原価差異につきましては、原価計算期間末までにはほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産(その他)として繰延べております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	835,495	756,119
受取手形及び売掛金	743,579	533,923
たな卸資産	402,468	402,872
その他	25,383	36,482
貸倒引当金	△746	△268
流動資産合計	2,006,181	1,729,129
固定資産		
有形固定資産		
土地	494,199	494,199
その他(純額)	130,208	156,759
有形固定資産合計	624,407	650,958
無形固定資産		
投資その他の資産	14,143	10,565
その他	58,643	51,320
貸倒引当金	△13,656	△14,161
投資その他の資産合計	44,986	37,159
固定資産合計	683,537	698,683
資産合計	2,689,719	2,427,812
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	767,647	597,171
短期借入金	300,728	290,367
前受金	391,006	354,376
未払法人税等	22,664	721
製品保証引当金	19,270	24,733
賞与引当金	17,448	2,720
その他	60,132	58,758
流動負債合計	1,578,898	1,328,848
固定負債		
長期借入金	647,156	549,471
引当金	39,103	21,313
その他	91,791	108,862
固定負債合計	778,051	679,647
負債合計	2,356,949	2,008,495
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,332,945	1,332,945
資本剰余金	131,387	131,387
利益剰余金	△1,250,918	△1,167,821
自己株式	△5,348	△5,443
株主資本合計	208,065	291,068
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△8,026	△4,481
土地再評価差額金	132,730	132,730
評価・換算差額等合計	124,704	128,249
純資産合計	332,769	419,317
負債純資産合計	2,689,719	2,427,812

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	1,741,545	2,571,176
売上原価	1,331,183	2,035,314
売上総利益	410,362	535,861
販売費及び一般管理費	399,098	477,343
営業利益	11,263	58,518
営業外収益		
受取利息	1,373	1,034
物品売却益	504	685
受取保険料	749	44,044
その他	1,301	3,044
営業外収益合計	3,929	48,809
営業外費用		
支払利息	16,066	14,032
為替差損	5,244	305
その他	1,098	953
営業外費用合計	22,409	15,291
経常利益又は経常損失(△)	△7,216	92,036
特別利益		
投資有価証券売却益	2,300	-
特別利益合計	2,300	-
特別損失		
固定資産除却損	159	207
特別損失合計	159	207
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△5,076	91,828
法人税、住民税及び事業税	4,285	8,731
法人税等合計	4,285	8,731
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△9,361	83,097

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

該当事項はありません。

当第3四半期累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

当社はプラスチック成形機事業のみの単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。



## 5. 補足情報

### (1) 生産、受注及び販売の状況

#### 1 生産実績

当第3四半期累計期間における生産実績を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

事業部門別の名称	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
インフレーション成形機事業	1,691,964	87.9
ブロー成形機事業	714,315	21.9
リサイクル装置事業	75,140	△16.1
合 計	2,481,419	57.4

(注) 1 金額は、販売価格によっております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

#### 2 受注実績

当第3四半期累計期間における受注実績を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

事業部門別の名称	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
インフレーション成形機事業	1,226,317	△14.7	789,605	△13.2
ブロー成形機事業	1,024,132	△16.4	685,857	△23.0
リサイクル装置事業	61,840	4.6	20,550	△74.2
合 計	2,312,289	△15.0	1,496,012	△20.4

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

#### 3 販売実績

当第3四半期累計期間における販売実績を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

事業部門別の名称	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
インフレーション成形機事業	1,447,874	73.1
ブロー成形機事業	688,415	37.1
リサイクル装置事業	75,140	△34.6
メンテナンス事業	359,746	24.7
合 計	2,571,176	47.6

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。